

山陽新聞社は朝刊一面に連載中の「手と手と手 岡山発 国際貢献」に関連したシンポジウム「地方からの国際貢献を考える」を開催します。地方からの国際貢献の在り方、可能性などを探りながら、日本が国際社会で担うべき役割を多角的に考えていきます。(入場無料)

## シンポ「地方からの国際貢献を考える」

5月28日 ママカリフォーラム

日時 5月28日(日) 津カンナさん(作家)▽  
午後1時半～4時半 パネルディスカッション  
(開場午後1時) 「地方からの国際貢献を

会場 岡山コンベン 考える」 大阪大大学院  
シヨンセンター(ママ 国際公共政策研究科の星  
カリフォーラム) 岡 野俊也教授をコーディネ  
山市駅元町14-1 ーターに、パネリストは

定員 250人 菅波茂・国際医療ボラン

内容 基調講演「地 ティアAMD A代表、内  
球の上の小さな私」神 野淳子・岡山県副知事、

阿曾村邦昭・吉備国際大  
大学院国際協力研究科  
長、仲田永造・高梁ロ  
タリークラブ元会長、鹿  
嶋小緒里・岡山大学院  
環境学研究科生

参加方法 5月15日

(月)までに、はがき、  
ファクスか電子メールに  
郵便番号、住所、氏名、  
年齢、職業、電話番号と  
参加希望人数を明記し、  
700-8734、山陽  
新聞社国際貢献取材班  
へ。ファクス086-

245-5296 メ  
ルアドレスkokusai@  
anyo.oni.co.jp 折  
り返し入場券を送りま  
す。

問い合わせは、電話0  
86-244-3926